

第4回 伊東市下水道使用料等に関する検討会 会議録

1. 日 時 令和4年3月18日（金）午後1時30分～午後2時5分
2. 場 所 湯川終末処理場 中央管理棟3階会議室
3. 出席者 検討会委員 8人（1人欠席）
検討会参与 2人（企画部長、総務部長）
<事務局>
上下水道部長 下水道課長 課長補佐兼経理係長
課長補佐兼施設建設係長 技監 経理係主査 施設建設係技術員

4. 会議の内容

検討会の開催に先立ち、座長から挨拶がされた。

(1) 総括

《意見》

■これまでの総括として、皆様から御意見を頂きたいと思います。

御意見を頂く前に、本会の目的について、改めて確認いたします。

この検討会の目的は、「本市の下水道事業の経営の安定に資するため、下水道使用料等の適正化について市民等の意見を聴取すること」を目的としており、「下水道使用料の適正化に関すること、下水道事業の経営の健全化に関すること」について検討し、その結果を市長に報告することとなっております。

本会の運営につきましては、「議題に対して意見を聴取する場であり、組織として意見を取りまとめることはなく、方向性を示すものではない」と、第1回会議の開催時に事務局から説明されております。

この方針に基づき、本会として「このようにすべきである」という取りまとめはいたしません。これまでの事務局からの説明で明らかになった現在の下水道事業の経営実態について感じられたことや、健全な経営を目指すために下水道事業が取り組むべきことなどについて、委員の皆様の御意見をお伺いしたいと思います。

それでは、席順にお願いします。（座長）

★下水道事業の赤字は十分理解しました。昨日今日の赤字というわけではなく、継続的なものであることも理解しました。ただ、どのように経営を健全化させるかに

関しては、料金の値上げしかないのかなと思います、今はタイミングが悪いと思います。コロナ禍で、本市の主要産業である観光業が非常に冷え切っている状態の中で、値上げをするというのは、もう少し様子を見て、落ち着いた頃に値上げをするような対処の仕方を考えていただければと思います。

我々の業界は上水道と下水道の使用と切っても切れませんので、経営健全化に理解はしますが、御配慮を頂ければ非常にありがたいです。我々の業界は、大きいところから小さいところまで、このコロナ禍で影響を受けておりますので、その辺を配慮していただいて、値上げのタイミングを計っていただきたいと思います。(A委員)

★下水道事業の健全性については、健全ではないと理解をしました。基準外の繰入金をもって運営している点において健全ではないと思います。また、他の市町と比較しても低い経費回収率と接続率も健全ではない事由であると思います。

現行の下水道使用料の料金設定の適正性につきましては、適正ではないと感じました。近隣の自治体で経費回収率100%となっている自治体があることも踏まえ、本市の料金は低すぎるのではないかと思います。受益者負担を原則とし、値上げは必須であると考えます。

経営の健全化のために今後取り組むべきことは、人口減少のトレンドを踏まえ、計画区域の見直しを進めて、インフラ事業のコンパクト化の方針を早急に判断し実施すべきではないかと思います。現状、経費回収率100%は困難であるかと思いますが、これまでいろいろ御説明を伺いました中では、段階的に一般財源の負担をなるべく少なくしていく仕組みづくりに早急に着手することが必要と思いました。公共料金は広く薄く徴収するのが基本であると思いますので、基本料金と従量料金の値上げのモデルもお示しいただきましたが、そのバランスを取って実施していただければと思います。

検討会に出席しての所感は、私は下水道事業計画の区域外に住んでいますので余り身近に感じていませんでしたが、現状をよく理解できました。公共事業の難しさはよく理解しておりますが、計画と現状との乖離をなるべく近づけるよう早く取り掛かり、将来世代に負担が掛からないよう、現世代で出来ることは早めに決め、実行していくことが重要と考えます。

その他、下水道事業に関する意見は特にありません。(B委員)

★経営の健全性につきましては、健全ではないなということが理解できました。公営企業は独立採算が基本という話がありましたので、現状、採算が取れていないことから、健全ではないと思います。

現行の下水道使用料の料金設定の適正性につきましては、適正ではないと感じました。経営の健全性と重なる部分もありますが、経営が成り立っていないのであれば、それに合わせて適正な金額を設定して、使用者の皆さんに負担していただくものではないかと思います。

経営の健全化のために今後取り組むべきことは、私もこの検討会に出席して、公共の事や公営の事の認識が、知らないことが多すぎたと感じました。市民の皆さんにも、周知はしているのしょうけれども、何度も何度も繰り返し周知をしていくことがまず最初にやるべきことではないかと思います。そのことによって市民の皆さんの理解が深まり、適正な使用料になることに賛同を頂けるのではないかと思います。今の世の中はSDGsの問題もありますので、それと絡めて、きれいな水を海に流すことも理由の一つに含めて、料金改定をする方法もあると思います。

検討会に出席しての所感は、下水道についていろいろな知らないことを知ったということで、良い機会に恵まれたと感謝をしております。A委員からもお話がありましたけど、適正な料金であれば皆さん納得していただけるのではないかと思います。ただ、コロナ禍ですし、このところいろいろなものが値上げされている状況で、消費者の皆さんは生活面での影響が出ていますので、段階的に値上げをすとか、様子を見ながらとか、段階を踏んでいただければありがたいです。(C委員)

★経営の健全性については、健全ではないと考えます。公営企業であり、独立採算制が義務付けられている中で、一般会計からの補助金が多いため、経営改善は必要だと考えています。

現行の下水道使用料の料金設定の適正性につきましては、料金設定は適正ではなく、料金改定をするべきではないかと考えます。使用開始から40年以上が経過し、下水道施設の老朽化に伴う費用の増加もあること、今後も地震対策としての施設の耐震化の設備投資が必要と考えられること、人口の減少による下水道使用料の将来的な減少も考えられることがあるからです。

経営の健全化のために今後取り組むことといたしましては、料金改定の時期と改定プランの検討として、一気に行わず段階的に改定する方法や、基本料金のみで値

上げする方法と従量料金での値上げを併用する方法、値上げの慢性化にならないプランの設定を検討することと、市民の理解として、なぜ料金改定が必要なのかをもっと周知させることが必要であると思いました。

検討会に出席しての所感は、下水道について知らないことが多かったので、とても勉強になりました。料金についても、漠然と「値上げはしないでほしい」と思っていたのですが、様々な現状があること、料金の実態について知ることが出来、伊東市の資源を守るために必要なことも分かりました。料金改定の言葉だけでは受け入れられない部分も多くあると思いますので、様々なプランの検討と下水道事業についてを多くの方に知ってもらうための発信を今後もお願いしたいと思います。

(D委員)

★経営の健全性につきましては、いろいろな問題があることは理解できましたので、値上げは妥当ですし、一般会計からの補助金を必要としている赤字であるということは健全ではないともいえますが、一般会計というのは伊東市民の払った税金ですので、税金に頼るといえるのはそれほど問題ではなく、全体的に言えば健全ではないというわけではないのかなと思います。逆にお金のためにインフラを伊東市と関係のない第三者機関に任せる方が問題で、ある自治体のように民間に事業を委託してしまうと、命を守るインフラを民間に託すということで、そちらの方が問題があるのではないかと思います。税金を投入して、使用者である市民から個別にお金を徴収して行っている下水道事業なので、その事業を始めた伊東市が責任を持って事業を継続している今の段階では健全の方に入るのではないかと思います。第三者に委託するよりは、今までどおり公務員の方々に頑張っていたいただきたいと思います。

検討会に出席して、いろいろ知らなかったことを知ることができて感謝しておりますし、経営改善を願っております。**(E委員)**

★経営の健全性につきましては、健全ではないと考えます。理由は、経費回収率が約51%しかなく、汚水処理費を賄っていないからです。企業債で賄っている部分につきましても、その償還金の確保がままならないという状況で一般会計から回っていて、受益者負担という建前がありながらも、そうではない税金が投入されています。ただ、そのような状況が仕方ないということも理解しています。

現行の下水道使用料の料金設定の適正性につきましては、汚水処理原価と使用料単価ともに他市町と比べて低い水準であり、うまくやられていると思いますが、経

費回収率の点では、現在の使用料単価で汚水処理費を賄えていないため、受益者負担という建前では適正ではないと考えます。

経営の健全化のために今後取り組むべきことは、他の委員もおっしゃっている下水道料金の値上げ、特に「将来的な」下水道使用料の値上げであると考えます。伊東は観光の街ですけど、今のコロナ禍で観光客が減っていて、観光業は多大に影響を受けていますので、A委員がおっしゃったように今は値上げのタイミングではなく、数年先かもしれませんが、全世界的にコロナから経済が立ち直った段階での値上げが考えられます。原油価格が上がったり、全般的に物価が上がっていて、これまでより経費が余計に掛かって、その分利益が少なくなっている状況ですので、近い将来で値上げというのは、完全に経済が回復しなければ、観光業者としてはなかなか厳しいと思います。具体的な年数は申し上げられませんが、将来的に下水道使用料の値上げを行わなければ経営の健全化は難しいのではないかと思います。

B委員からもありましたが、市の人口が将来的に減っていくシミュレーションも出ていますので、従来の計画の見直しを行うなど、それは根本的な解決ではないかもしれませんが、回収率が上がっていくような工夫をしていくことが大切だと思います。使用料を上げて回収率を少しでも上げていかないと、健全化の方向に向かっていかないと思います。

検討会に出席しての所感は、伊東市だけに限らず、少子高齢化による人口減少が、一部の大都市を除き日本全国の地方で進んでいる中で、公共サービスの低下とはまだなっていないと思いますが、運営の健全性が元々うまくいっていないことから、これからもっと悪くなっていくと思います。余り明るい話題ではありませんけど、実際に財政破綻した自治体もありますので、気になっています。(F委員)

★経営の健全性につきましては、お水というのは私たちの生活の中で切っても切れないもので、朝から晩までお水のない生活というのはないと思います。下水道事業がなくなると、お水の処理の方法に難を来すと思います。数字的なことはわかりませんが、是非続けていっていただきたい事業の一つであると思っています。

料金につきましては、水仕事をした後のお水の処理が地面の中でどうなっているか知らない人の方が多いと思います。以前にコップ3分の1の醤油を流した場合に、それをきれいなお水にするためにどのくらいのお水が必要か聞いたことがあります。料金のことは、検針票でお知らせをされて、口座で引き落とされて、それで終わり

だと思えます。他の市町と比べて伊東市の料金がどの辺の位置にあるのか分かっていない方が多いと思えますので、それを皆さんに知らせていただくことも必要であると思えます。文字ばかりですと苦手ですので、イラストが入ったものを広報いとうなどに載せてもらって目を引いて、下水道事業とはこういうもので、下水の処理にこんなに掛かるということを皆さんに知らせていただきたいと思います。

経営の健全化のために今後取り組むべきことは、値上げが考えられますが、皆さんがおっしゃっているように、私も値上げという言葉に敏感になっています。値上げすることは難しいことですが、ずっと難しいとって通り過ぎてしまうと、いつまでたっても解決できないと思えます。下水道事業にはこのくらいのもが必要ということを皆さんにうまく伝えていただければ、値上げもスムーズにいくと思えますし、時期を見て値上げを検討していただいた方がいいと思えます。

検討会に出席しての所感は、難しいお話で、なかなか理解できないこともありましたが、以前の検討会に出席させていただいた時に、下水道の施設の見学をさせていただいたことがありました。その時にいろいろなお話を聞いていなければ今回の検討会で聞いた話で理解ができなかったと思うことが、多くありました。今後も検討会を行うことがありましたら、なるべく多くの方に参加していただけることと、できる限り初めて参加する方をお願いできることを希望します。

その他、下水道事業に関する意見としましては、この検討会で施設見学をさせていただき、下水道事業の大切さが身に染みしました。海や河川を汚さないことも市民の義務だと思えますので、下水道事業が円滑に進むように、市の皆さんで管理をよろしくお願いいたします。また、検討会の開催のため、丁寧な資料の作成など、ありがとうございました。(G委員)

■経営の健全性につきましては、健全ではないと思えます。本市の下水道事業の財源不足分は一般会計からの基準外繰入金から補填されており、その金額も年々増加しています。独立採算が求められる地方公営企業として、経営改善が求められるものと考えます。

現行の下水道使用料の料金設定の適正性につきましては、適正ではないと思えます。下水道使用料は他事業者に比べて低い水準であり、経費回収率の低さにつながっています。

経営の健全化のために今後取り組むべきことは、経営戦略に記載された改定率3

0%引き上げの実施が必要と思いました。引き上げに際しては、基本料金の引き上げを主軸とした改定が望ましく、また、コロナ禍での料金改定となるため、段階的な引き上げを行い、市民の負担を和らげる措置が必要だと思えます。

検討会に出席しての所感は、下水道事業については、正直関心もありませんでした。下水道事業の内容を勉強し、料金改定の必要性を理解できましたが、改定に当たっては、極力市民に理解を得られるよう、広報の必要性を感じました。(座長)

○本日欠席の委員から事前に御意見を頂いておりますので、報告させていただきます。

下水道事業の健全性については、健全ではないと考えます。下水道が同じ市内なのにもかかわらず、接続率が100%でないことが問題ですし、下水道に多額の財源として税金が使われていることへの不平等が生じていると考えられるためです。

現行の下水道使用料の料金設定の適正性については、適正ではないと考えます。汚水処理費を賄っていないということは、永久的に赤字経営になる訳で、一般的な会社では経営ができなくなる状況です。汚水処理の経費100%回収に向け、段階的に引き上げていく必要があると考えます。先日、仕事関係の方から「下水道代、上がるそうですね。」と声を掛けられました。その方は「伊東は今まで安かったからね。」とおっしゃっていました。経費に見合った金額にするべきであると考えます。

経営の健全化のために今後取り組むべきことは、毎年毎年一般会計からの補助金で賄ってきているものを、少しずつ今から立て直す必要があると考えます。今後の市内の新築は下水道に接続していけるようにするなど、100%の接続を目指すことと、水道使用者に汚水処理経費がどのくらい掛かっているか提示し理解してもらい、それに近づけるための値上げを段階的に行っていく必要があると考えます。誰しも値段が上がるのは嫌ですけど、電気やガスに比べたら2か月分の請求の水道代は安いと思えます。高いと思われないように1か月ごとの請求にするなどの改善も必要と思えます。時代の流れとともに値上げは必要不可欠であると思えます。

検討会に出席しての所感は、今まで伊東市の下水道事業がこんなにも赤字経営になっていたとは思いませんでした。市の方に任せてあるから安心していましたが、この経営の不安が子や孫の代まで引き継がれることを阻止しなければならないと思えます。今、まだ見直せる時期に勉強、発言させてもらえたことをうれしく思

います。少しでも一般会計の負担が減り、未来ある伊東市の下水道事業に期待します。

その他、下水道事業に関する意見は特にありません。

以上です。(事務局)

■ありがとうございました。皆様からの意見を、是非今後の下水道事業の運営に役立てていただきたいと思います。(座長)

●他に意見、質問なく終了

(2) その他

① 委員からの質問等

■最後の議題「その他」になりますが、委員の皆様から何かございますか。(座長)

●委員から、質問等はなかった。

② 事務局からの連絡事項

本検討会の検討結果報告書は、市長へ提出するとともに、会議録と併せて本市ホームページへの掲載及び報道機関への報道依頼により周知を図ることとする旨の連絡があった。

会議の終了に当たり、事務局を代表して上下水道部長からお礼の挨拶が述べられた。

以 上